

## 宮古島市未来創造センター

-PCaPC造による半屋外空間と重なる屋根-



本建物は、沖縄県宮古島市に建設された図書館・公民館の複合施設である。珊瑚が隆起してできた宮古島の持つエネルギーの原点をデザインとしてテーブルサンゴをイメージし、市の新たなシンボルとしての施設を目指して設計した。市民が憩い集うことのできる半屋外空間は、プレキャスト・プレストレストコンクリート+鉄骨による約6mの片持ち梁によって大きな庇を計画した。宮古島の強い日射を避け、風が通り抜ける日陰の元、人々が語り合い交流し、未来へ繋がる空間の実現ができた。

令和7年 3月28日【金】

時間 18:00~20:00 (15分前受付開始)

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 建築士会会員 無料  
会員外 1,000円 (当日会場にてお支払いください)

定員 先着60名 (要事前申込)

会場 神奈川県建設会館2階講堂  
〒231-0011 横浜市中区太田町2丁目22

申込 QRコードからお申込みください



講師

砂川 佳久 氏

(有)アトリエ・門口 取締役  
管理建築士沖縄県宮古島市出身  
2004 千葉大学工学部都市環境システム学科卒  
2004~2013 沖縄県内設計事務所、  
施工会社勤務  
2014 有限会社アトリエ・門口 入所

本物件で

- ・グッドデザイン賞 受賞
- ・日本空間デザイン賞 公共生活・コミュニケーション空間部門 入賞

主催/お問い合わせ：(一社)神奈川県建築士会横浜支部 技術・情報委員会  
yokogijyo@kanagawa-kentikusikai.com

協力：KTB協会 (賛助会員)